

令和 4 年 6 月 15 日現在

機関番号：12102

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2018～2021

課題番号：18K00367

研究課題名(和文) African American Women Writers in the Air-Atomic Era

研究課題名(英文) African American Women Writers in the Air-Atomic Era

研究代表者

竹谷 悦子 (Taketani, Etsuko)

筑波大学・人文社会系・教授

研究者番号：60245933

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,500,000円

研究成果の概要(和文)：二〇世紀中葉のアメリカにおけるトランスナショナルな宙空への転回は、新しい視覚や認識論を生み、地球(惑星)や人種やホモサピエンスの位置付けそのものを変えた。本研究は、そのパラダイム・シフトを表象あるいは記録するテキスト集合体(文学・写真・地図・風刺画・広告・政府文書・建築等々)を「航空アーカイヴ」という概念で捉えるものである。「航空アーカイヴ」構築はトランスナショナルなアフリカ系アメリカ文学研究に道を開くものである。

研究成果の学術的意義や社会的意義

近年のアメリカ文学研究は、トランスナショナルな視座への転回と連携し、地表レベルのメタジオグラフィック(海洋、半球、島、島嶼)に依拠し、間大西洋、半球、環太平洋、島嶼といった空間論的な展開を見せてきた。本研究は「航空アーカイヴ」という概念を導入し、新しいアフリカ系アメリカ文学研究の方法論を呈示するものである。

研究成果の概要(英文)：A turn to transnational aeriality in the mid-twentieth century United States changed the way of seeing the Earth, races, and species, and their relationships to one another and to the environment. This project examines a diverse but select set of what I heuristically call aerial archives. The operative definition of this term refers to texts (literary, visual, material, or otherwise) that operate as archiving systems, representing a shift in aeriality and the corollary shifting ground of race and the human race that it caused.

研究分野：アメリカ文学

キーワード：ジョセフィン・ベーカー ロレイン・ハンズベリー エセル・ペイン 航空時代 原爆 占領ペー  
ヒロシマ

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

## 1. 研究開始当初の背景

近年のアメリカ文学研究は、トランスナショナルな視座への転回と連携し、間大西洋(ポール・ギルロイ)、半球(キャロライン・F・レヴァンダーとロバート・S・レヴィン)、環太平洋(ユアン・シューとドナルド・E・ピーズ)、島嶼(ブライアン・ラッセル・ロバーツとミッシェル・アン・スティーブンス)といった空間論的な展開を見せてきた。こうした研究は、地理学的カテゴリー自体を生み出す「メタジオグラフィー」(マーティン・W・ルイスとカレン・E・ヴィゲン)の言説に遡って文学を論じる試みと言える。そしてメタジオグラフィーがどのように生成され、また変容してきたのかを明らかにすることに、研究の焦点が置かれている。そのうえで本研究が問題視するのは、こうした近年の研究がいまだに地表レベルのメタジオグラフィー(海洋、半球、島、島嶼)に拘泥しているかに見えることである。

たとえば、アフリカ系アメリカ文学研究に大きな影響力を与えたポール・ギルロイの『ブラック・アトランティック』(1993年)は、世界を二つの半球に分割し、三つの大陸—ヨーロッパ、アフリカ、アメリカ—とそのあいだの大西洋の空間を、船(奴隷船)をクロノトープとして理論化したものである。しかし、ブラック・アトランティックあるいはブラック・パシフィックといった海洋フレームは、二〇世紀中葉のアフリカ系アメリカ文学研究では必ずしも機能しない。それは一九四〇年代--「空と核の時代」(air-atomic age)--において時空間をめぐる認識論そのものがラディカルにシフトしたからである。

本研究では「航空アーカイヴ」(aerial archives)という概念から、アフリカ系アメリカ文学(史)を再考するものである。

## 2. 研究の目的

「航空アーカイヴ」(aerial archives)とは私の定義による造語である。それは動力飛行の歴史や航空写真等の史料やその量的集積のことではない。二〇世紀中葉のアメリカにおけるトランスナショナルな宙空への転回は、新しい視覚や認識論を生み、地球(惑星)や人種やホモサピエンスの位置付けそのものを変えた。そのパラダイム・シフトを表象あるいは記録するテキスト集合体(文学・写真・地図・風刺画・広告・政府文書・建築等々)を「航空アーカイヴ」という概念で捉えるものである。文学テキストを読む行為と収集した史料を読む行為を共存させることで、アフリカ系アメリカ文学史において看過されてきたもの、つまり、アフリカ系アメリカ女性の想像力と「空と核の時代」の歴史との接続を解明するものである。本研究は、最終的に英文の研究書としてまとめる予定である。

## 3. 研究の方法

### 1) ジョセフィン・ベーカー

アメリカの黒人パフォーミング・アーティストのジョセフィン・ベーカーの公演パンフレットや澤田美喜との間で交わされた書簡を史料として収集し、従来注目されることがあまりなかった貴重な事実(ベーカーがパイロット・ライセンスを取得していたこと、プライベート

ートの複葉機を購入していたこと、公演パンフレットに女性飛行士としての自らの肖像写真を掲載していたこと、ベーカーの広島訪問等）を分析した。さらにベーカーの作品である童話La Tribu arc-en-ciel (The Rainbow Tribe) や自伝の分析をとおして、作家ベーカーの「空と核の時代」の想像力を解明した。

## 2) エセル・ペイン

アフリカ系アメリカ人ジャーナリストであるエセル・ペインが執筆活動を始めたアメリカ占領期の日本での活動を示す史料として、ワシントンDCのハーワード大学Moorland-Spingarn Research Center所蔵のEthel Payne Papers、さらには黒人紙 Chicago Defenderに掲載されたペインの新聞記事を分析し、占領ベイビー（とりわけブラウン・ベイビー）やハネダ・アーミー・エアベースからの空の眺めの描写を検証した。

## 3) ロレイン・ハンズベリー

アフリカ系アメリカ人劇作家で反核・平和運動への貢献でも知られるロレイン・ハンズベリーが執筆した日本映画『ひろしま』（1953年、関川秀雄監督）のレビューは、入手がきわめて困難な一次資料であったが、New York Public Libraryから取り寄せた『フリーダム』紙（ポール・ロブソン創刊）のマイクロフィルムから発掘することができた。また核戦争後の未来世界を描いたハンズベリーの戯曲What Use Are Flowers? の先行作品の草稿を、ニューヨークのショーンバーグ黒人文化研究センター所蔵のLorraine Hansberry Papersから発見し、黒人女性の核の想像力を分析した。

## 4. 研究成果

第二次世界大戦中のアメリカの航空地図、航空写真、ならびに日本占領期の米軍による航空写真を分析し、トランスナショナルな空の時空間が、文学、とりわけ地球（惑星）や人種や環境の表象をどのように変容させたかを検証することで「空のアーカイヴ」の概念を理論化した。またユダヤ系アメリカ人であるベアテ・シロタ・ゴードンのThe Only Woman in the Room (1997)、アフリカ系アメリカ人ジャーナリストのエセル・ペインのChicago Defender紙の記事等における空と地下の表象を解明し、現在執筆中のAerial Archives of Raceと題する研究書の序章としてまとめた。またジョセフィン・ベーカーの分析はその2章“The Airy Fairy Tale: Josephine Baker, the Rainbow, Occupation Babies”として完成させた。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計5件（うち査読付論文 4件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 竹谷悦子	4. 巻 80
2. 論文標題 ハーレム・ルネサンス再訪	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本アメリカ文学会東京支部会報	6. 最初と最後の頁 1-2
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹谷悦子	4. 巻 80
2. 論文標題 ハーレム・ルネサンスの制度化 都市空間と時代区分	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本アメリカ文学会東京支部会報	6. 最初と最後の頁 3-10
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Taketani Etsuko	4. 巻 91
2. 論文標題 Review of Tricksters and Cosmopolitans: Cross-Cultural Collaborations in Asian American Literary Production, and East-West Literary Imagination: Cultural Exchanges from Yeats to Morrison	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 American Literature	6. 最初と最後の頁 895-897
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1215/00029831-7917440	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Etsuko Taketani	4. 巻 25
2. 論文標題 Review of Facing the Rising Sun: African Americans, Japan, and the Rise of Afro-Asian Solidarity, by Gerald Horne	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Modernism / Modernity	6. 最初と最後の頁 839-841
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1353/mod.2018.0064	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Etsuko Taketani	4. 巻 20
2. 論文標題 Aerial Archives: American-Occupied Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Proceedings of the Association for Japanese Literary Studies: Evidence, Transmission, and Inheritance in Japanese Literature and Media	6. 最初と最後の頁 3-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計3件 (うち招待講演 1件 / うち国際学会 1件)

1. 発表者名 竹谷悦子
2. 発表標題 ハーレム・ルネサンスの制度化 空間的含意と「時代区分」
3. 学会等名 日本アメリカ文学会東京支部
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Etsuko Taketani
2. 発表標題 'Aerial Archive': Postwar-Occupied Japan
3. 学会等名 27th Annual Meeting of the Association of Japanese Literary Studies, University of California, Berkeley (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 竹谷悦子
2. 発表標題 空から読むアメリカ占領期の日本
3. 学会等名 日本語日本文化フォーラム 復旦大学 上海
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計3件

1. 著者名 Etsuko Taketani	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Sage Publications	5. 総ページ数 284 (225-243)
3. 書名 Trans-Pacific Americanism (edited by Takayuki Tatsumi)	

1. 著者名 Etsuko Taketani	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Cambridge University Press	5. 総ページ数 458 (95-111)
3. 書名 American Literature in Transition: 1930-1940 (edited by Ichiro Takayoshi)	

1. 著者名 竹谷悦子	4. 発行年 2021年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 610(234-249)
3. 書名 ハーレム・ルネサンス---<ニュー・ニグロ>の文化社会批評(松本昇監修、深瀬有希子、常山菜穂子、中垣恒太郎編)	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------